

第1学年 学級活動 指導案

令和 3年10月 4日(月)

場所 : 1年1～3組・あおぞら②教室

授業者 : 1学年担当教職員

1 単元名 メディアコントロール

2 単元設定の理由

(1) 教材観

本校におけるメディア利用についての課題としては、家庭でのルール作りに関するものがその中心となっている。

これまでも保護者会や学校からの文書等を通して家庭でのルール作りやその見直しを呼びかけてはいるが、保護者と子どもが向き合ってルール作りを行っていないために、ルール無しで生活しているか、保護者がルールを一方向的に押しつけている。そのため、子どもがルールを守ろうとする意識が低く、長時間使用による身体への影響や、ゲーム依存ととれる症状もみられる。

また、これらを解消するために、生徒と保護者向けにメディアコントロールへの理解を深める機会としての教育講座等を企画しても、保護者の参加者が少なく、理解を深めるには至っていない。

そこで、生徒・保護者のメディアに対する認識を把握するための実態調査をもとに、自分事として情報モラルを受け止めさせ、改善するためのアプローチの方法を模索していくことが必要となる。

本時ではその第一歩として、アンケート結果をもとに生徒自身のメディア利用の現状を振り返らせ、メディア利用の約束の案を作成し、家庭に自分から提案できるようにさせたい。

(2) 生徒観

(略)

(3) 指導観

本校では、令和3年7月11日(日)に行われた教育講演会において、生徒と保護者を対象に「教育のための科学研究所」の目黒朋子先生に御講話をいただいた。その中でもメディアコントロールについて取り上げていただき、家庭でのルール作りにおいては、「一方向的なものではなく話し合いによって決めること」「破った場合のペナルティは生徒自身が決めること」などを御助言いただいた。

現在、家庭でのルールがない生徒の割合は約25%である。また、ルールがある生徒の場合その内容としては、利用する時間帯や課金、知らない人とのやり取りに関するものが多い。一方で使用する場所やペナルティに関する約束は少ない。

これらのルールについては実効性についてあいまいな点が多く、普段のヒアリングの中でも守ることができていない旨の話も聞こえてくる。ルールは定めることが目的ではなく、それを実際に守らせることで自律できるようにしていくことが重要である。

3 本時のねらい

自分のメディア利用についての課題を把握し、課題改善のために実効性のあるルール案をつくることができる。

4 指導過程

T 1：情報教育担当（穴澤） T 2：1組→河原田、2組→目黒、3組→只木、あおぞら②→鈴木

	学習過程	担当	形態	時間	○指導上の留意点 <input type="checkbox"/> 評価
導入	<p>1 本時の目標をつかむ。</p> <p>(1) 事前課題の内容を確認する。</p> <p>(2) 本時の目標をつかむ。</p> <p>メディア利用の約束の案をつくらう。</p>	T 1	一斉	7	<p>○T 2：授業開始前にワークシートを配付する。</p> <p>○T 1：一斉指導は GoogleMeet を使って配信する。</p> <p>○事前課題として、「自分からみたメディア利用の課題」「家族からみたメディア利用の課題」をワークシートに記入させておく。</p>
展開	<p>2 アンケート結果をもとにメディア利用の現状を振り返る。</p> <p>(1) アンケート結果を確認する。</p> <p>(2) 自分のメディア利用の課題をアンケート結果をもとに見直す。</p> <p>3 約束の作り方を知る。</p> <p>4 約束の案をつくる。</p>	T 1	一斉	8	<p>○T 1：事前に実施した生徒・保護者のアンケート結果について、共通点と相違点を中心に、保護者がどのようなことを心配しているのかを解説する。</p> <p>○T 2：事前課題の内容を見直させ、約束づくりの際の優先順位を決めさせる。</p>
		T 2	個別	5	<p>○T 2：約束の4項目について、なかなか書けない生徒には、自分の使い方を振り返らせながら、書きやすい部分から書いてみるよう助言する。</p> <p>○T 1：4クラスを巡回しながら、T 2のサポートをする。</p>
		T 1	一斉	5	<p>○T 1：時間（いつ・どのくらい）・場所（どこで）・用途（どんなことに）・破った時のペナルティの4項目について考えさせる。</p> <p>○実現不可能な目標ではなく、実際により良い使い方ができるようになるために必要なことは何かを考えさせる。</p>
		T 2	個別	20	<p>○T 2：約束の4項目について、なかなか書けない生徒には、自分の使い方を振り返らせながら、書きやすい部分から書いてみるよう助言する。</p> <p>○T 1：4クラスを巡回しながら、T 2のサポートをする。</p> <p>自分の現状を基に、守ることができる約束の案を具体的につくることができるか。【ワークシート】</p>
終末	<p>5 約束の提案の仕方を確認する。</p>	T 1	一斉	5	<p>○T 1：約束の案を家庭に持ち帰り、保護者の方と話し合っって修正するよう指導する。</p> <p>○T 1：12月に再度ルールについての見直しの機会を設けることを伝える。</p>

メディア利用のわたしの課題

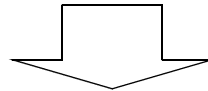
年 組 番 名前 _____

1学期にアンケートを実施したメディア利用について、もう一度考える授業を10月に行います。そこで事前に、今現在のメディア利用の様子について、どんな課題があるのかを考えてみましょう。

ここでの「メディア」は、主に以下のものです。

**スマートフォン、携帯電話、タブレット、パソコン、
通信機能付きのゲーム機や音楽プレーヤー**

自分からみたメディア利用の課題	お家の方からみたメディア利用の課題



※保護者直筆でお願いします。

メディア利用のわたしの課題

※10月の授業の
中で考えます。

メディア利用の約束

年 組 番 名前

アンケート結果と自分自身の課題をもとに、家庭でのメディア利用の約束をつくります。つくった約束は、家庭で見えるところに置いて、意識的に守っていきましょう。

ここでの「メディア」は、主に以下のものです。

スマートフォン、携帯電話、タブレット、パソコン、通信機能付きのゲーム機や音楽プレーヤー

わたしはメディアの利用について、次のことを約束します。

<家族と話し合った修正点>

約束が守れないときには

次のペナルティを受けます。

12月にこの約束を
実践してみても
振り返りの授業を
行います。

第1学年 学級活動 指導案

令和 3年12月14日(火)

場所 : 1年1～3組・あおぞら②教室

1 単元名 メディアコントロール

2 単元設定の理由

(1) 教材観

本校におけるメディア利用についての課題としては、家庭でのルール作りに関することがその中心となっている。令和3年10月4日(月)には、その課題解決の第一歩として、アンケート結果を基に生徒に自身のメディア利用の現状を振り返らせ、メディア利用の約束の案を作成し、家庭に自分から提案するという授業を行った。

これまでも保護者会や学校からの文書等を通して家庭でのルール作りやその見直しを呼びかけてきたが、1学期に行った調査では、約25%の生徒がルールを決めないままメディアを利用していた。この現状を、学校の授業を通して生徒と保護者にメディア利用の約束について具体的に考える機会を設けることで、「約束を決めたうえでメディアを利用する」というレディネスをそらせることができた。

本時ではその第1回の授業で作成した自分の約束について、アンケート結果を基に生徒自身の現状を振り返らせ、どのようなときに守れないのかその要因を探り、守れた生徒の例を参考にし、メディアコントロールについての自己マネジメント力を育成する。

(2) 生徒観

(略)

(3) 指導観

第1回の授業で作成した約束の実行状況は、「守れた」が25.3%、「だいたい守れた」57.0%と約80%の生徒がおおむね約束を守って生活することができた。しかし、約束の項目ごとの状況では、場所・用途・ペナルティについては同様の傾向があるのに対して、時間については「守れた」「だいたい守れた」を合わせて約65%に減少している。

第1回の授業では、「約束を決めたうえでメディアを利用する」というレディネスをそらせるため、学校が主導して家庭でのルール作りの機会を設けた。この段階では、「授業で考えたから約束を実行する」という他律的なメディアコントロールである。しかし本来は、家庭での時間を有意義なものにするとともに、自身の心身の健康を意識してメディアを利用することが目指すべき姿である。このような自律的な自己マネジメントの立場に立った約束とその実行においては、約束を守って生活することでどのような良いことがあるのか、守らないことでどのような弊害があるのかを意識させることが重要である。

また、これらを意識させてルールを改善する中で、自助努力だけでは達成できない場面も予想される。その場合の対応の仕方についても、友人や家族に対してどのように関わってもらうことが必要なのかを、生徒どうしの話し合いの中から気付かせたい。

3 本時のねらい

自分のメディア利用のルールについて実行状況を把握し、自己マネジメントの案をつくることができる。

4 指導過程

T 1 : 情報教育担当

T 2 : 1組担任、2組担任、3組担任、あおぞら②担任

	学習過程	担当	形態	時間	○指導上の留意点 <input type="checkbox"/> 評価
導入	<p>1 本時の目標をつかむ。</p> <p>(1) 前回の授業の内容を確認する。</p> <p>(2) アンケート結果を基にメディア利用の約束の実行状況を振り返る。</p> <p>(3) 本時の目標をつかむ。</p> <p>メディア利用をマネジメントしよう。</p>	T 1	一斉	10	<p>○T 2 : 授業開始前にワークシートを配付し、生活班をつくらせる。</p> <p>○T 1 : 一斉指導は GoogleMeet を使って配信する。</p> <p>○T 1 : 事前に実施した生徒のアンケート結果について、学年の傾向を解説する。</p> <p>○T 1 : マネジメントの意味を説明する。</p>
展開	<p>2 具体的な場面について話し合う。</p> <p>(1) 以下A～Cの各場面について、普段の自分ならどうするか話し合う。</p> <p>A : 動画を見終わったら、おすすめの表示に気になる動画を見つけた。あと5分でいつもなら寝る時間だ。</p> <p>B : 約束の時間なのでゲームを終わろうとしたら、友達から協力プレイのお誘いがあった。</p> <p>C : 友達とのメッセージのやり取りですでに30分話している。まだ今日の宿題が終わっていない。</p> <p>(2) 「より良い家庭生活」の視点からどうすべきか話し合う。</p>	T 1 T 2	班	15	<p>○T 1 : 場面の状況を説明する。話し合いの中で、実際にそのように行動したら、どのような結果になるのかについても話してみるように促す。</p> <p>○T 2 : 生徒の話し合いを促し、(2)の場面では、自分だけではなく周囲の人に関わってもらうこともできることを助言する。</p>
	<p>3 自己マネジメントの案のつくり方を知る。</p>	T 1	一斉	5	<p>○T 1 : 約束の重点事項を設定させ、その達成に必要なことを「自分」「友達の関わり」「家族の関わり」の3項目を中心に考えさせる。</p>
	<p>4 メディア利用の自己マネジメントの案をつくる。</p> <p>(1) ワークシートに案を記入する。</p> <p>(2) 代表生徒の発表を聞く。</p>	T 2	個別 一斉	17	<p>○T 2 : なかなか書けない生徒には、アンケートの結果や話し合いの内容を振り返ってみよう助言する。</p> <p>○T 1 : 4クラスを巡回しながら、T 2のサポートをする。</p> <p>○T 2 : 手本となるような案を2名程度発表させる。</p> <p>自分の現状を基に、自己マネジメントの案を具体的に つくる ことができるか。【ワークシート・発表】</p>
終末	<p>5 自己マネジメントの取り組み方を確認する。</p>	T 1	一斉	3	<p>○T 1 : マネジメント案を友達や保護者と話し合って取り組むよう指導する。</p> <p>○T 1 : 冬休み明けに生徒・保護者への取り組み状況についてのアンケートを実施することを伝える。</p>

メディア利用をマネジメント！

年 組 番 名前 _____

わたしのメディア利用の重点課題は・・・

<理由>



わたしの「目指す」メディアの使い方は・・・

その実現のために…

<自分で取り組むこと>

<友達に協力してほしいこと>

<家族に協力してほしいこと>

本日の目標

メディア利用をマネジメントしよう

マネジメントとは・・・

目標を達成するための方策

→ 「どうすれば目標を達成できるか」

「コントロール（抑制）」は”悪いことをやらない”が前提ですが、
「マネジメント」は”より良いことをする”が前提です。

マネジメントとは・・・

メディア利用をマネジメント

→より良いメディアの使い方をするためには、
どうすれば達成できるのかを考えて実行する

具体的な場面を考えてみよう

これから出てくる場面について、

- (1) 普段の自分ならどうするか
- (2) 「より良い家庭生活」の視点ではどうすべきか

を、班で話し合ってみましょう。

具体的な場面を考えてみよう



場面 A

動画を見終わったら、おすすめの表示に気になる動画を見つけた。あと5分でいつもなら寝る時間だ。

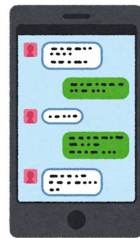
具体的な場面を考えてみよう



場面 B

約束の時間なのでゲームを終わろうとしたら、友達から協力プレイのお誘いがあった。

具体的な場面を考えてみよう



場面 C

友達とのメッセージのやり取りですでに30分話している。まだ今日の宿題が終わっていない。

自己マネジメントのために・・・

- 何をすればいいの？
→ 以前に決めた約束をもとに「特に改善or継続したいこと」を決める

- 自分だけの力で約束を守り続けるのは結構大変・・・
→ 友達や家族にも協力してもらうことを考えて、一緒に取り組む

自己マネジメントのために・・・

- ① 重点課題を決める
- ② 「目指す」メディアの使い方をイメージする
- ③ 実現のための方法を考える
 - ・自分で取り組むこと
 - ・友達に協力してほしいこと
 - ・家族に協力してほしいこと

それでは実際に、
具体的な自己マネジメントの案を
つくっていきましょう！

前回の振り返り

約束の案をつくったあとは・・・

- ・約束はつくっただけでは意味がない！
→実際に守っていくことが大切
- ・約束は自分だけが知っていても意味がない！
→家族と相談して、改善点があれば修正する

まずは実行！

1月に今回の取り組みについて、生徒と保護者のみなさんを対象に振り返りのアンケートを行います。

より良いメディアとの付き合い方を身につけていくために、“友達や家族にも協力してもらいながら”「やってみる」ことから始めてみましょう！